

## 平成 24 度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	ブルーベリーの特性評価と優良品種の選定(追補)
[要約] 県内で栽培されるブルーベリーの中から、収量、果重、食味等の優れる14品種を選定し、その特性を明らかにした。			
キーワード	ブルーベリー	優良品種	技術部 果樹研究室

## 1 背景とねらい

本県におけるブルーベリーの栽培は、昭和 55 年頃から始まり、現在は約 37ha の栽培面積となっている。また、販売形態は、J A 出荷の他、直売、加工、観光摘み取り園など多岐に渡っている。

平成 18 年度試験研究成果「ブルーベリーの特性評価と優良品種の選定」で、優良品種の特性一覧を示したが、経営、用途に応じた特徴ある果実が求められていることから、新たな品種の追加、既存品種の経年調査を行い、再度特性についてとりまとめる。

## 2 成果の内容

(1) 選定した優良な 14 品種の主な特性は以下のとおりである。

## 優良品種の特性一覧

収穫時期	品種名	多収	大玉	良食味	収穫期間
極早生 (7月上旬)	アーリーブルー				短
	デューク				短
	スパータン				
早生 (7月中旬)	ブルージェイ				長
	ハリソン				長
	ルーベル				短
	ブルーチップ				
	ヌイ				
早～中生 (7月第5半旬)	シエラ				短
	おおつぶ星				短
	ブル				長
中生 (7月第6半旬)	ブルーレイ				長
晩生 (8月上旬)	チャンドラー				短
	ダロー				長

収穫時期は、累積収量が全体の 50% を超えた時期。

多収は、成木期以降の収量が 2kg 以上 / 樹。

大玉は 1 果重 2 g 以上、選果割合 2 L 25% 以上。

良食味は、食味評価アンケートで評価の高かったもの。

収穫期間は 25 日間以内のものを短い、30 日以上のを長いとした。

(2) 生食用には、糖酸比が高い品種(甘味の強い品種)ほど好まれる傾向にある(図 1)。

## 3 成果活用上の留意事項

(1) 本試験に供試した品種の植栽距離は 5 × 1.25 ~ 2.5m。供試樹数は 1 品種 1 ~ 2 樹。

(2) この成果の活用方法として、生食用で利用する場合は良食味な品種、加工用で利用する場合は多収な品種、観光摘み取り園で利用する場合は収穫期間が長い品種、市場出荷等で同一品種の収穫の切り上げを早めたい場合は収穫期間が短い品種を選ぶなど経営規模、形態に応じて活用する。

## 4 成果の活用方法等

## (1) 適用地帯又は対象者等

県下全域の果樹栽培指導者

## (2) 期待する活用効果

生産者の目的にあった品種を選択することが可能となる。

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(4-4 826) おうとう、もも等の優良品種の選抜(H14~25)

(1000) おうとう、もも等の優良品種の選抜 (3)ブルーベリー優良品種の選抜

## 6 研究担当者

川守田真紀

## 7 参考資料・文献

平成 14 ~ 24 年度 岩手県農業研究センター 果樹試験成績書(一部未定稿)

平成 18 年度試験研究成果書 「ブルーベリーの特性評価と優良品種の選定」

## 8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 優良品種の収穫期・収量・果実品質

品種名	収穫期	樹齢	収穫始期 (月/日)	収穫盛期 (月/日)	収穫終期 (月/日)	収穫期間	成木に達した樹齢	成木期以降の平均収量 (g/樹)	果実肥大		糖酸比	食味評価	
									1果重 (g)	平均選果割合(%) 2L以上 L以上			
アーリーブルー	極早生	14	6/28	7/8	7/21	23	7	1,254	1.3	1.3	43.4	18.5	50%
デューク		14	6/30	7/11	7/24	24	8	1,670	1.9	12.6	83.0	19.4	45%
スパータン		14	7/4	7/16	8/1	28	7	1,360	1.7	11.3	70.4	14.8	43%
ブルージェイ		12	7/6	7/16	8/6	31	5	1,649	1.7	2.1	68.9	11.4	45%
ハリソン	早生	14	7/6	7/17	8/5	30	7	1,723	2.1	31.8	89.1	13.9	21%
ルーベル		13	7/11	7/18	8/4	24	-	2,034	1.4	1.5	57.0	18.6	49%
ブルーチップ		14	7/9	7/19	8/4	27	7	1,380	2.1	29.3	87.3	15.5	50%
ヌイ		13	7/8	7/20	8/6	29	6	2,049	2.2	31.8	94.0	8.4	13%
シェラ	早~	14	7/12	7/21	8/3	23	7	1,046	1.8	23.0	88.1	9.1	43%
おおつぶ星	中生	10	7/12	7/24	8/7	25	6	1,016	2.2	39.7	91.2	11.7	23%
ブル		13	7/9	7/25	8/13	35	6	1,436	2.0	34.4	89.3	12.0	33%
ブルーレイ	中生	14	7/13	7/26	8/12	30	7	1,516	1.9	15.6	82.1	10.3	42%
チャンドラー	晩生	7	7/24	8/1	8/11	18	-	-	3.3	76.4	99.2	9.0	4%
ダロー		14	7/18	8/4	8/25	38	7	2,004	2.2	38.8	93.5	6.4	15%

樹齢12~14年の品種：収穫始期、収穫盛期、収穫終期、収穫期間、収量、1果重（平成15年~23年の平均値）選果割合（平成18年~23年平均値）、糖度、酸度（平成17年~24年の平均値）

チャンドラー：収穫始期、収穫盛期、収穫終期、収穫期間、収量（平成22年~24年の平均値）、1果重（平成24年）選果割合（平成22年~24年の平均値）、糖度、酸度（平成21年~24年の平均値）

おおつぶ星のデータは平成20年~24年の平均値、ルーベルは平成21年~24年の平均値

成木に達した樹齢は、樹容積（（樹幅の平均/2）<sup>2</sup> × 樹高、平成24年の値）が一定に達した樹齢

酸度は、クエン酸換算

選果規格：2L（横径18~20mm、約3g/果）、L（横径15~18mm、約2g/果）

食味評価は、農業研究センター職員を対象とした食味アンケート（平成17~24年の平均値）で、「うまい」と回答した割合

網かけは、優良品種の特性一覧に掲載した多収、大玉、良食味、収穫期間で該当する数値

食味評価「うまい」の回答した割合

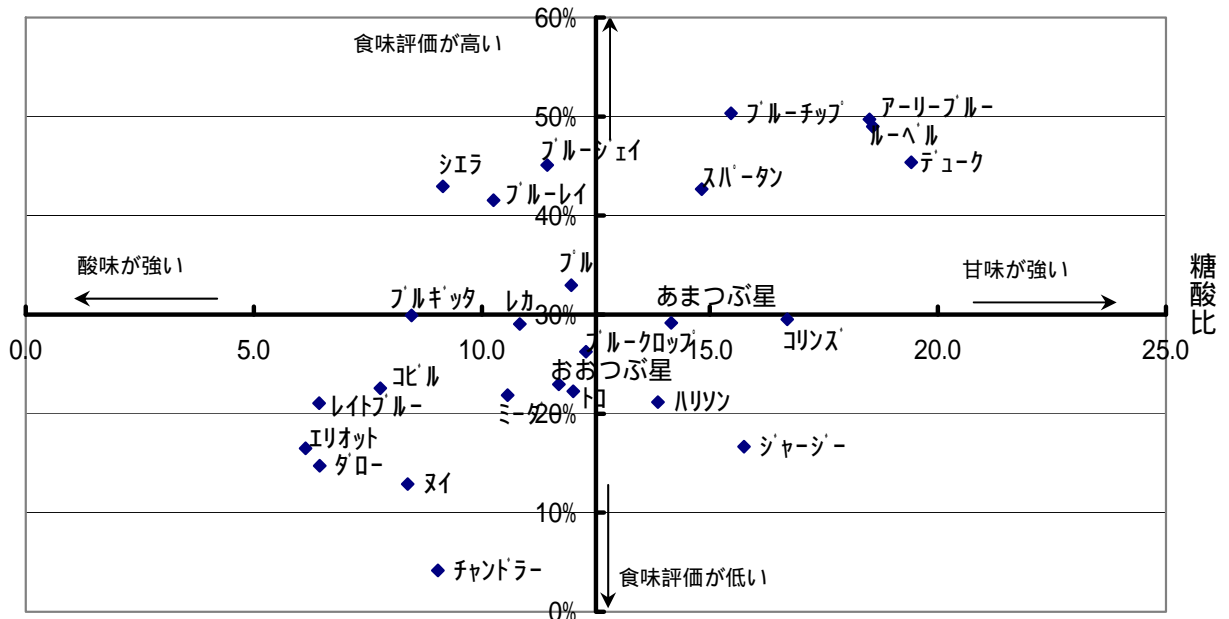


図1 糖酸比と食味評価の相関